TOKIO MARINE
ASSET MGT

2023 年 12 月 28 日

サステナブルファイナンス大賞「優秀賞」受賞

東京海上アセットマネジメントの「生物多様性クレジット」創出に係る研究・事業が
「第９回（2023 年）サステナブルファイナンス大賞」で「優秀賞」に選ばれました。

サステナブルファイナンス大賞とは、環境問題を金融的に解決する「環境金融」の普及・啓蒙活動を行っている環境金融研究機構（RIEF）が、2015 年から日本で環境金融商品・サービス・取り組みを行う金融機関、企業等を対象に、毎年評価・支援している表彰制度です。今回、「最も優れたサステナブルな環境金融活動」の一つとして東京海上アセットマネジメントの取り組みが「優秀賞」に選ばれました。

当社では、従来から自然保全活動を推進しているエコツアーふくみみ（代表者　大堀健司）、石垣市立野底小学校（校長　仲皿利治）ならびに株式会社イノカ（代表者　高倉葉太）と協業し、沖縄県石垣島にて生物多様性の保全や脱炭素を推進する藻場再生プロジェクトに取り組んでおります。

具体的には、絶滅危惧種である海草ウミショウブをラボで保護し、最適な生育環境や環境変化に強いウミショウブの研究等を実施しています。その後、実際の海へとウミショウブを移植し藻場を再生させ、生物多様性の回復と脱炭素の実現を目指しています。また、同時にブルーカーボンや生物多様性クレジットの取得も目指した取り組みです。

今般、本取り組みが以下の通り評価・表彰されました。

優秀賞：東京海上アセットマネジメント

資産運用機関金融力とベンチャー企業の技術力を利活用し、サステナビリティに関する新たな領域開発に取り組み。藻場の再生を陸上で実現し、再び海洋に戻して「生物多様性クレジット」を創出する等の事業を展開。資産運用の対象を「近未来の技術開発」に応用へ。

当社は、本取り組みでの成果やノウハウを活かして今後は全国各地や全世界における生物多様性保全や脱炭素の取り組みの推進を図りたいと考えています。この研究を通じて社会的に意義のある活動を経済・金融と結び付けることで、よりサステナブルな取り組みへと発展させ、社会課題を解決すると同時に経済成長・企業価値向上の実現を目指します。

■　**お問い合わせ**

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】
東京海上アセットマネジメント株式会社
当事業担当（岡田）
TEL：03-3212-8301
E-mail：esg_info@tokiomarineam.co.jp

以上